

建設みえ

No.322

令和8年7月15日発行
(奇数月発行)



も く じ

● 第66回定時総会を開催	2
● 一般社団法人三重県建設業協会・三重県建設産業 団体連合会・三重県土木施工管理技士会合同表彰 式を開催	4
● 晴れの受賞者	6
● 令和8年度受賞者名簿	9
● 令和8年度優秀施工者知事表彰受彰者	11
● 令和8年度技士会受賞者名簿	12
● 晴れの受賞者	13
● 令和8年度支部総会を開催	14
● 令和8年度建設業新入社員研修会を開催	16
● 災害対策用機械等操作訓練に参加	17
● おしらせ①	18
● おしらせ②	20
● おしらせ③	21
● 会員の異動	22
● 職員の異動	22
● 協会日誌	23

2026. JUL.

7

発行所/一般社団法人三重県建設業協会

〒514-0003 津市桜橋二丁目177の2

TEL. 059-224-4116

発行人/稗田寿次郎・編集人/坂三雅人

編集協力/榊建通新聞社

第66回 一般社団法人 三重県建設業協会定時総会

第66回 定時総会を開催



竹上亀代司会長

三重県建設業協会では令和8年6月5日（金）、津市一身田上津部田の三重県総合文化センター内、フレンテみえフレンテホールにおいて第66回定時総会を開催しました。

総会当日は、三重県副知事 後田和也 様、三重県議会副議長 津田健児 様、三重県議会県土整備企業常任委員会副委員長 松浦慶子 様、国土交通省中部地方整備局長 森本輝 様、国土交通省近畿地方整備局建設部建設産業調整官 吉田治智 様、国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所長 大吉雄人 様、国土交通省近畿地方整備局木津川上流下線事務所長 臼井義幸 様、厚生労働省三重労働基準局長 渡辺 聡 様、厚生労働省三重労働基準局労働基準部監督課長 宮内一寿 様をはじめ、多数のご来賓にご臨席いただきました。

冒頭、竹上会長は、ご臨席の来賓に対し謝辞を述べるとともに、建設産業を取り巻く状

況はロシア・ウクライナ情勢や中東情勢をはじめ様々な影響により、物価上昇が長期にわたり、資機材価格の高騰や人件費の上昇となつて、地域建設業の経営環境に大変厳しい状況をもたら



後田和也副知事

している。こうした、厳しい環境の中で、「担い手の確保」、「生産性の向上」、「労働環境の改善」の3つの課題に取り組むとともに、「地域の守り手」として激甚化・頻発化する災害にも対応しなければならない。当協会では、技術者等のキャリアアップなど若手技術者の定着の取組を進めるとともに、女性が生き生きと活躍できる環境づくりに取り組むなど、建設産業の魅力ある職場づくりに努めている。また、生産性向上、特に建設DXに関しては、新たに創設された国の補助金を活用したICT機器の導入など、さまざまなICT活用を進めている。さらに、災害への対応として、毎年、全会員の参加による災害対応実働訓練を実施し、県内だけでなく県外の災害支援にも備え、取り組んでいる。また、防疫対応についても、三重県との協定に基づき、本年1月、津市内で発生した鳥インフルエンザの埋却処分の対応をしたところあり、引き続き、県民の「安全・安心」の確保を担う役割を果たしていきたい。本県は、南海トラフ地震による津波等の甚大な被害が予想され、県内各地域の国土強靱化を早急に充実することが重要だ。国におかれては、昨年6月に策





森本輝中部地整局長



渡辺聡労働局長

定された「第1次国土強靱化中期計画」が、事業規模を20兆円強と増額し、本年度から執行が始まる。当協会としては、各県・各地域の実情に応じた執行を期待したい。当協会は、どの地域の建設企業においても、将来にわたり足腰の強い体質をもち、地域における社会的役割をしっかりと果たすとともに、建設産業が一層発展していくよう、積極的に取り組みたいと考えているので、より一層のご理解とご協力をお願いしたい、と挨拶し、会員各位の理解と協力を求められました。

次に三重県知事表彰式に移り、多年建設業界の発展に尽力し、公共事業の推進と中小企業の振興に努めた功績により、後田副知事より中尾達也 様（中尾建設株）、菊山賢二 様（株丸栄建設）、宇城哲也 様（株宇城組）に、それぞれ賞状が授与されました。

次に三重県議会副議長 津田健児 様、国

土交通省中部地方整備局長 森本 輝 様、三重県副知事 後田和也 様、厚生労働省三重労働基準局長 渡辺 聡 様から祝辞が述べられました。来賓紹介・祝電披露の後、議事に移り、



津田健児副議長

第1号議案 令和7年度 事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録承認の件、第2号議案 令和8年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）承認の件、第3号議案 役員の任期満了に伴う改選の件について審議され、いずれも原案通り可決・承認されました。

なお、総会に来賓としてご臨席いただいた方々は次の通りです。



一般社団法人三重県建設業協会 第66回定時総会来賓名簿

1	三重県 副知事	後 田 和 也
2	三重県議会 副議長	津 田 健 児
3	三重県議会 防災県土整備企業常任委員会 副委員長	松 浦 慶 子
4	国土交通省 中部地方整備局 局長	森 本 輝
5	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所所長	大 吉 雄 人
6	国土交通省 近畿地方整備局 建政部建設産業調整官	吉 田 治 智
7	国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所所長	臼 井 義 幸
8	厚生労働省 三重労働局 局長	渡 辺 聡
9	厚生労働省 三重労働局 労働基準部監督課長	宮 内 一 寿
10	三重県県土整備部 部長	藤 井 和 久
11	三重県県土整備部 公共事業運営課課長	寺 田 和 弘
12	三重県県土整備部 技術管理課課長	尾 市 知 己
13	三重県県土整備部 建設業課課長	内 山 幸 治
14	三重県農林水産部 部長	枅 屋 典 子
15	三重県企業庁 庁長	生 川 哲 也

（敬称略・順不同）

一般社団法人三重県建設業協会・ 三重県建設産業団体連合会・ 三重県土木施工管理技士会 合同表彰式を開催

一般社団法人三重県建設業協会、三重県建設産業団体連合会、三重県土木施工管理技士会の3団体共催による合同表彰式が、令和8年6月5日、津市一身田上津部田の三重県総合文化センター内フレンテみえ・フレンテホールで開催され、建設業界の発展に尽力し、他の模範となる功績のあった方々への顕彰・伝達・表彰が行われました。



生川正洋氏

三重県建設業協会の表彰では、はじめに顕彰状の授与が行われ、令和7年秋の褒章で黄綬褒章を受章され

た生川正洋様（生川建設㈱）、同じく、黄綬褒章を受章された橋爪吉生様（株石吉組）、並びに、令和7年国土交通



橋爪吉生氏



酒井隆氏

大臣表彰を受賞された酒井隆様（富山建設㈱）、同じく令和7年国土交通大臣表彰を受賞された松岡伸年様

（松岡建設㈱）の4名に、竹上会長から顕彰状・記念品がそれぞれ授与されました。

続いて、一般社団法人全



松岡伸年氏



全国技士会伝達

国建設業協会表彰の伝達が行われ、受賞の24名・1事業所を代表して田村頼一様（日本土建㈱）に竹上会長か

ら表彰状・副賞が授与されました。

最後に、一般社団法人三重県建設業協会表彰が行われ、受賞の63



全建代表者受賞 田村頼一氏



三重建協会長表彰代表者受賞 西口竜矢氏

名を代表して西口竜矢様（㈱西邦建設）に竹上会長から表彰状・副賞が授与されました。

次に、三重



合同表彰式

県建設産業団体連合会の表彰に移り、優秀施工者三重県知事表彰を受賞された三重県建設業協会会員企業勤務の前川篤司様（中井土木株）、磯和明德様（株山下組）、長谷川幹雄（稲葉建設株）、西森久司様（株三和工務店）の4名、並びに三重県造園建設業協会会員企業勤務の1名、三重県管工事工業協会会員企業勤務の1名に、三重県県土整備部 藤井部



優秀施工者知事表彰

長からそれぞれ表彰状・副賞が授与されました。

最後に三重県土木施工管理技士会の表彰に移り、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会会長表彰の伝達が行われ、三重県建設業協会会員企業勤務の松岡篤志様（株中村組）、小西兼義様（岡田工業株）、小林善光様（日本土建株）、大森敬之様（中井土木株）、富田智之様（株田村



県技士会会長表彰

組）、西山雅章様（株西邦建設）の6名に平野会長から表彰状・副賞が授与されました。

続いて、三重県土木施工管理技士会会長表彰が行われ、受賞の48名を代表して永野陽佑様（高砂建設株）に平野会長から表彰状・副賞が授与されました。

表彰の栄誉に浴された皆様、おめでとうございます。



三重県技士会会長表彰

晴れの受賞者

三重県知事表彰

令和8年度三重県知事表彰の栄に輝きました。
おめでとうございます。



中尾 達也 氏（鈴鹿支部）

中尾建設 株式会社 代表取締役



菊山 賢二 氏（伊賀支部）

株式会社 丸栄建設 代表取締役



宇城 哲也 氏（熊野支部）

株式会社 宇城組 代表取締役会長

晴れの受賞者

黄綬褒章

令和7年秋の黄綬褒章を受章されたことを受け、三重県建設業協会より顕彰しました。
おめでとうございます。



令和7年秋の黄綬褒章

生川 正洋 氏（四日市支部）

生川建設 株式会社 代表取締役



令和7年秋の黄綬褒章

橋爪 吉生 氏（志摩支部）

株式会社 石吉組 代表取締役社長

晴れの受賞者

国土交通大臣表彰

令和7年国土交通大臣表彰を受賞されたことを受け、三重県建設業協会より顕彰しました。
おめでとうございます。



建設事業関係功労者

酒井 隆氏（桑員支部）

富山建設 株式会社 代表取締役



建設事業関係功労者

松岡 伸年氏（四日市支部）

松岡建設 株式会社 代表取締役社長

令和8年度受賞者名簿

令和8年度全国建設業協会会長表彰の栄に輝かれました。
おめでとうございます。

一般社団法人 全国建設業協会 会長表彰受賞者

(24名・1事業場)

規程第2条3号該当

(1名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
志 摩	(有)岡権組		岡 銀次郎

規程第5条該当

(14名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
四 日 市	高砂建設㈱		伊 藤 公 隆
四 日 市	横内建設㈱		谷 口 義 忠
四 日 市	大宗建設㈱		石 田 政 人
松 阪	丸亀産業㈱		濱 中 大 輔
松 阪	㈱北村組		川 端 正 行
松 阪	㈱北村組		和 田 啓
松 阪	㈱北村組		谷 口 哲 也
松 阪	㈱北村組		出 口 篤 規
松 阪	中村土建㈱		西 村 守
伊 勢	㈱山野建設		権 部 正 弘
伊 勢	㈱山野建設		竹 内 主 光
志 摩	㈱石吉組		平 賀 宏 和
伊 賀	㈱丸栄建設		西 岡 雅 志
伊 賀	㈱丸栄建設		福 森 弘 樹

規程第2条4号該当

(9名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
四 日 市	伊藤工業㈱	代表取締役	伊 藤 吉 孝
四 日 市	諸岡建設㈱	代表取締役	諸 岡 剛
鈴 鹿	三愛建設㈱	代表取締役	北 澤 嗣 夫
鈴 鹿	勢州建設㈱	代表取締役	伊 藤 随
津	日本土建㈱	代表取締役 社長	田 村 頼 一
伊 勢	㈱堀崎組	代表取締役	西 岡 眞
尾 鷲	㈱竹田建設	代表取締役	竹 田 勝
尾 鷲	谷建設(有)	代表取締役	谷 晃 史
熊 野	(有)杉本建設	代表取締役	岩 出 計 紀

規程第4条1号該当

(1社)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
志 摩	(有)丸福工業	代表取締役	福 井 真 代

令和8年度三重県建設業協会会長表彰の栄に輝かれました。
おめでとうございます。

一般社団法人 三重県建設業協会 会長表彰受賞者

(63名)

規程第2条4号該当

(7名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
四 日 市	守成建設㈱	代表取締役	田 中 守
四 日 市	㈱河北組	代表取締役	近 藤 雅 彦
鈴 鹿	㈱大野工務店	代表取締役	大 野 太 平
伊 勢	船谷建設㈱	代表取締役	船 谷 哲 司
伊 勢	㈱西邦建設	代表取締役	西 口 竜 矢
熊 野	崎建設㈱	代表取締役	崎 恵 子
熊 野	㈱下桐建設	代表取締役	下 桐 美 鈴

規程第2条8号該当

(1名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
尾 鷲	㈱幸組	代表取締役	尾 崎 友 郎

規程第5条該当

(55名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
桑 員	㈱ナガシマ		小 川 圭 一
桑 員	㈱ナガシマ		杢 井 隆 幸
桑 員	㈱藤井建設		今 村 和 訓
桑 員	天元工業㈱		安 立 孝 俊
桑 員	天元工業㈱		服 部 岳
桑 員	天元工業㈱		増 田 景 子
四 日 市	東邦地水㈱		桑 原 智 法
四 日 市	東邦地水㈱		杉 野 哲 也
四 日 市	生川建設㈱		山 下 比呂美
四 日 市	生川建設㈱		石 上 和 美
四 日 市	生川建設㈱		鮫 島 雄一朗
四 日 市	生川建設㈱		伊 藤 寛 記
四 日 市	生川建設㈱		服 部 芳 明
四 日 市	朝日土木㈱		山 村 幸 司
四 日 市	朝日土木㈱		加 田 亨
四 日 市	朝日土木㈱		増 田 英 樹
四 日 市	㈱杉本組		古 市 理
四 日 市	アイトム建設㈱		杉 岡 純
四 日 市	㈱中村組		堀 田 秀 樹
四 日 市	㈱中村組		杉 本 英 次
四 日 市	㈱山本邦組		仲 野 友 謙

規程第5条該当

(55名)

支 部 名	会 社 名	役 職 名	氏 名
四 日 市	㈱穂積建設		岡 部 賢 孝
亀 山	白川建設㈱		川 北 裕 二
亀 山	白川建設㈱		野 間 博 幸
亀 山	㈱山内建設		稲 垣 太
津	東海土建㈱		清 水 淳
津	東海土建㈱		坪 内 聡 美
津	東海土建㈱		若 林 真美子
津	㈱アイケーディ		臼 井 儀 浩
松 阪	中井土木㈱		飛 岡 秀 信
松 阪	㈱田村組		中 西 慎太郎
松 阪	丸亀産業㈱		小 崎 元 康
松 阪	丸亀産業㈱		中 川 竜 一
松 阪	㈱北村組		木 村 善 友
松 阪	㈱北村組		東 川 晋 也
松 阪	㈱北村組		曾 我 健 二
松 阪	㈱北村組		山 本 和 宏
伊 勢	マルヒロ産業㈱		後 藤 房 男
伊 勢	㈱近藤建設		河 原 保 幸
伊 勢	㈱近藤建設		北 村 和 裕
伊 勢	㈱森組		松 田 孝 広
伊 勢	㈱森組		大 上 真
伊 勢	㈱西邦建設		高 橋 由紀子
伊 勢	㈱西邦建設		曾 野 和 人
伊 勢	㈱西邦建設		曾 野 直 人
志 摩	㈱出馬重機		山 本 浩
志 摩	㈱川木組		中 川 幹 朗
志 摩	㈱大進		大 西 貢
伊 賀	㈱丸栄建設		中 西 一 利
伊 賀	上野ハウス㈱		岡 島 匠
伊 賀	上野ハウス㈱		澤 田 尚 弘
伊 賀	㈱大栄		藤 原 真 也
伊 賀	㈱大栄		長 島 慎
伊 賀	大同建設工業㈱		福 永 佳 孝
伊 賀	㈱廣嶋組		井ノ尾 元 弥

令和8年度 優秀施工者知事表彰受彰者

三重県では、「ものづくり」に携わっている建設現場で働く人々の誇りと意欲を増進し、その社会的評価・地位の向上を図り建設業の健全な発展に資することを目的に、優れた技術や技能で建設工事の第一線で直接工事に従事してみえる方を優秀施工者として表彰しています。

令和8年6月5日、フレンテみえ、フレンテホールで表彰式が開催され、三重県建設産業団体連合会から推薦のあった6名の方が表彰の栄誉に浴されました。

三重県建設業協会からは次の4名の方々が受彰されました。おめでとうございます。

優秀技術者



前川 篤 司氏

(松阪支部)

中井土木 株式会社

優秀技術者



長谷川 幹 雄氏

(伊勢支部)

稲葉建設 株式会社

優秀技術者



磯 和 明 徳氏

(志摩支部)

株式会社 山下組

優秀技術者



西 森 久 司氏

(伊賀支部)

株式会社 三和工務店

令和8年度 技士会 受賞者名簿

三重県土木施工管理技士会では、令和7年に国や県から優良工事技術者表彰を受賞された三重県技士会会員を、他の模範に足る者として表彰しています。

令和8年6月5日、フレンテみえ、フレンテホールで表彰式が開催され、54名の方々が表彰の栄に浴されました。おめでとうございます。

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 会長表彰

6名（敬称省略）

氏 名	会 社 名	支部
松 岡 篤 志	㈱中村組	四日市
小 西 兼 義	岡田工業㈱	四日市
小 林 善 光	日本土建㈱	津

氏 名	会 社 名	支部
大 森 敬 之	中井土木㈱	松阪
富 田 智 之	㈱田村組	松阪
西 山 雅 章	㈱西邦建設	伊勢

三重県土木施工管理技士会 会長表彰

48名（敬称省略）

氏 名	会 社 名	支部
佐 藤 吉 幸	天元工業㈱	桑員
加 藤 万太郎	伊勢土建工業㈱	桑員
永 野 陽 佑	高砂建設㈱	四日市
岡 田 憲 彦	信藤建設㈱	四日市
須 川 泰 弘	信藤建設㈱	四日市
松 尾 将 樹	㈱院南組	四日市
前 川 雄 志	㈱院南組	四日市
川 島 和 祐	諸岡建設㈱	四日市
新 井 康 司	福道建設㈱	四日市
広 瀬 安 男	日進建設㈱	四日市
鈴 木 章 友	勢州建設㈱	鈴鹿
眞 弓 泰 子	三舞建設㈱	鈴鹿
濱 口 英 次	西口建工㈱	鈴鹿
川 上 泰 正	堀田建設㈱	亀山
田 中 広 二	田中土木㈱	津
北 嶋 直 也	北嶋建設㈱	津
近 藤 健 太	北嶋建設㈱	津
尾 田 孝 行	藪建設㈱	津
竹之内 晃 治	㈱広山建設	一志
服 部 剛 史	㈱藤久建設	一志
中 村 文 哉	中村土建㈱	松阪
落 合 希	中村土建㈱	松阪
西 出 友 成	㈱フォーレスト	松阪
荒 木 大 司	㈱田村組	松阪

氏 名	会 社 名	支部
小 野 悟 嗣	㈱田村組	松阪
川 瀬 稔	㈱カワセ	松阪
山 形 吉 弘	㈱三栄建設	松阪
西 勝 浩	㈱西山組	伊勢
中 川 浩	大達建設㈱	伊勢
小 倉 昌 也	㈱谷口組	伊勢
松 田 裕 希	南建工業㈱	伊勢
小 林 行 展	㈱森組	伊勢
林 正 実	朝日丸建設㈱	伊勢
山 下 哲 旨	㈱山下	伊勢
前 田 英 哉	畑中建設工業㈱	志摩
岩 野 真 二	㈱大進	志摩
澤 井 真 紀	大同建設工業㈱	伊賀
廣 岡 誠	㈱竹島建設	伊賀
橋 本 公 雄	ハマダ建設㈱	尾鷲
川 東 工 治	㈱中村組	尾鷲
森 本 真 生	㈱前川組	尾鷲
東 尚 史	㈱平野組	尾鷲
久 保 範 明	㈱長井建設	尾鷲
大 玉 勝 己	ユウテック㈱	熊野
前 健 市	㈱井本組	熊野
伊 藤 順 子	日本土木工業㈱	熊野
新 絵里佳	日本土木工業㈱	熊野
犬 飼 康 一	㈱眞建	熊野

晴れの受賞者

黄綬褒章

令和8年春の国家褒章におきまして、三重県建設業協会 副会長の平野金人氏が黄綬褒章を受賞されました。おめでとうございます。



令和8年春の黄綬褒章

平野 金人氏（尾鷲支部）

株式会社 平野組 代表取締役

令和8年度 支部総会を開催

(敬称略)

桑員支部（4月27日・桑名市にて開催）

新支部長に就任した伊藤友章支部長は「人手不足や原油不足による資材価格の高騰など課題続く」とし「だからこそ、お互いに助け合って、発注者から頼りにされる組織づくりをしていく」と決意を語りました。

総会では、令和7年度の事業と収支決算の報告、8年度事業計画案を承認し、事業計画には官公庁への要望活動の実施、人材の確保・育成に向けた対策強化などを盛り込みました。

四日市支部（4月23日・四日市市にて開催）

新支部長に就任した清水良保新支部長は「新支部長として粉骨砕身し、地域の発展に務める」と決意を語りました。

総会では議案すべてを承認し、令和8年度の事業計画には年度官公庁・関係団体との意見交換会や高校生インターンシップ、出前授業などを盛り込みました。

鈴鹿支部（4月23日・鈴鹿市にて開催）

新支部長に就任した伊藤随支部長は資材単価や労務費の高騰、資材不足について触れ「依然として不透明で厳しい状況は続く」と述べつつ『『地域の守り手』としての役割が果たせるように、取り組んでいきたい』とあいさつしました。令和8年度は、自然災害防止に向けた社会基盤整備への要望をはじめ、教育機関と連携した現場見学会の開催、魅力発信などを事業計画に盛り込みました。

亀山支部（4月27日・亀山市にて開催）

堀田支部長は、「県内で一番小さな支部となるが、協力し合いながら次の時代にも仕事が継続できるように取り組みたい」と話しました。総会では25年度事業報告・収支決算、26年度事業計画・予算を承認。事業計画には教育関係機関と連携した現場見学会・出前講座の開催、建設業の情報提供と魅力発信、ASPの亀山市への働き掛けなどを盛り込みました。

津支部（4月20日・津市にて開催）

田村頼一支部長は「世界情勢の緊迫化によって、資材の高騰に加えて原料の輸入困難になっている」とし「支部会員と協力して、官公庁に向けた情報発信を行って乗り越えたい」と呼び掛けました。総会では、25年度の事業と収支決算の報告、26年度事業計画案を承認した。事業計画には、官公庁への要望活動の実施、教育機関と連携したインターンシップ開催などを盛り込みました。

一志支部（4月17日・津市にて開催）

藤谷文彦支部長は「美化ボランティアや鳥インフルエンザに伴う防疫対応など、さまざまな協力があった」と25年度の活動を振り返った上で「今後も一志支部を盛り上げてほしい」と述べました。総会では令和8年度事業計画案・収支予算案などを承認し、事業計画には担い手確保と若年層育成の取り組みや、建設現場におけるデジタル技術の活用促進などを盛り込みました。

松阪支部（4月21日・松阪市にて開催）

中井俊彦支部長は「建設業も女性が活躍する時代になってきている。協会としても、活動を推進していきたい」と述べ「会員企業あつての協会活動であり、意見があれば活動に反映していく」とあいさつしました。議事では25年度事業報告と収支決算、26年度事業計画案と収支予算案を承認し、事業計画には、公共事業予算確保のための要望活動や、未加入企業の加入促進など組織力の強化を盛り込みました。

伊勢支部（4月21日・伊勢市にて開催）

中村哲也支部長は「昨年は出前授業や若者の育成、担い手確保などに取り組んだ一年だった」と述べ、「業界への発展のため引き続き、協会の運営に協力してほしい」とあいさつしました。

令和8年度事業計画には、担い手確保に向けたインターンシップの実施や五十鈴川河川清掃奉仕活動などを盛り込みました。

志摩支部（4月27日・志摩市にて開催）

西尾亮支部長は「気候変動による豪雨・台風の発生や南海トラフ地震などの自然災害の課題解決のため、担い手の確保や労働環境の改善、生産性の向上に取り組む」と述べた上で「持続可能な建設業に向けて協力してほしい」とあいさつしました。令和8年度事業計画には、建設フェスタの開催による業界イメージアップや女性技術者・技能者の入職促進と定着のため志摩支部「パールこまち（女性部会）」準備・立ち上げなどに取り組みます。

伊賀支部（4月24日・伊賀市にて開催）

堀池和茂支部長は、「伊賀方面での建設関係の予算は少ないのは、地元の要望が少ないのが理由ではないかと考えている。何か要望があれば、実現に向けて積極的に動いていく」とあいさつしました。総会では令和8年度の事業計画案と収支予算案などを承認し、事業計画には公共事業予算の確保についての要望活動や、建設業協会への加入促進を盛り込みました。

尾鷲支部（4月21日・尾鷲市にて開催）

平野金人支部長は「中東情勢の不安で、資材の高騰、不足が顕著になってきている。現場での工程管理や原価管理などにも影響が出てくるであろうが、嘆いてばかりではいけない。知恵を出し合い、力を合わせて取り組んでいきたい」とあいさつしました。令和8年度事業計画では、適正な入札・契約制度の実現などの要望活動や組織力強化、研修会・講習会の開催などを盛り込みました。

熊野支部（4月24日・熊野市にて開催）

井本伊織支部長は「中東情勢による品不足や値上げなど、先行きが見通せない状況になってきているが、団結し乗り切っていきたい」と述べるとともに「公共事業の予算規模拡大と工事量の維持に向け、まだまだ余力があることを示し要望活動を行っていく」とあいさつしました。令和8年度事業計画では適正な入札・契約制度の実現などの要望活動や生産性向上に向けたDXなどの取り組みを盛り込みました。



令和8年度 建設業新入社員研修会を開催



昨今の建設業界では、若年労働者の入職率が減少しているとともに、入職しても短期間で離職してしまうことが多い状況にあります。

このため、三重県建設業協会では、建設業界に入職された新入社員の方を対象に、社会人・企業人としての資質の向上と建設業に携わる者としての意識の高揚を図り、有為な人材の育成・定着を図ることを目的に、建設業新入社員研修会を開催しています。

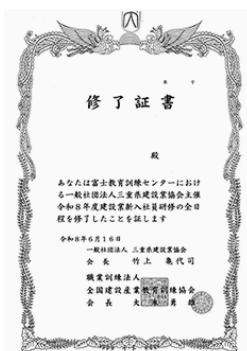
今年度は令和8年6月15日から16日にかけて、津市桜橋の三重県建設産業会館4階会議室において、富士教育訓練センターの花輪孝樹講師をお迎えして開催しました。

四日市支部ほか7支部の会員企業19社から39名が参加し、グループ学習を中心に仲間意識の醸成に取り組んだほか、集団行動を通じ

「個人と集団」・「礼儀と節度」などの社会的ルールを学びました。

1日目は、花輪講師から基本となる挨拶やビジネスマナー等の講義を受け、社会人としての責任と義務を学びました。開講直後から厳格な雰囲気、受講生は圧倒されていましたが、会社の社員であり、業務の一環であるという自覚を持ち、真剣に講義を受講されていました。

2日目は、1日目に実践訓練で学んだコミュニケーション力を基に、演習を主体として「実践話法」や「スピーチ」等の講義が行われました。スピーチでは「私の仕事に取り組む決意」という題で、スピーチ内容を考えて発表を行い、意思伝達力を学びました。



災害対策用機械等操作訓練に参加



国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所では5月22日、松阪市の櫛田川 右岸上流河川敷で、5月25日、北牟婁郡紀北町の銚子川右岸河川敷で、5月29日、岐阜県海津市の長良川右岸河川敷で、それぞれ災害対策用機械等の操作訓練を実施しました。

この訓練は、防災・減災に向けた取り組みの一環として、災害対策用機械の迅速かつ的確に操作が出来るよう操作技術の習得を目的に実施されたもので、櫛田川右岸上流河川敷

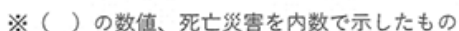
での訓練では三重県建設業協会の津・一志・松阪・伊勢・志摩・伊賀の6支部の会員企業に勤務の18社20名、銚子川右岸河川敷での訓練では尾鷲・熊野の2支部の会員企業に勤務の16社25名、長良川右岸河川敷での訓練では桑員・四日市・鈴鹿・亀山の4支部の会員企業に勤務の23社33名が参加して、排水ポンプ車と照明車の取扱い・操作について説明を受けた後、実際に操作を行いました。



墜落災害防止強調月間

おこたるな

※各作業の具体的な墜落災害防止対策は、裏面をご覧ください



業 種	被災者の 職種・年齢	災害発生状況
道路貨物運送業	運転者 50代	被災者は、地上約3mのトラック荷台上で荷積み作業中、荷台上から地面に墜落した。
ビルメンテナンス業	清掃員 70代	被災者は、ハンディ型の掃除機を使用し階段の清掃作業中、階段を転落した。
その他の建設業	はつり工 40代 はつり工 30代	被災者らは、足場の作業床上で作業中、作業によって生じた堆積物により作業床が崩壊し、底部まで墜落した。
小売業	販売員 50代	作業者が行方不明となり、その後事業場外部の用水路の溝に倒れているところを発見された。

検索



1 足場、屋根等からの墜落・転落災害の防止

足場からの墜落災害は、墜落防止措置の不備、労働者の不安全行動や無理な姿勢による作業、床材や手すり等の緊結不備により発生しています。

- ☐ ①足場設置のための幅が1 m以上確保できる箇所には、本足場を使用しましょう。※
- ☐ ②足場には、法令に基づき、手すり、中さん等を設置しましょう。※
- ☐ ③足場には、「より安全な措置」に基づき、上さんや幅木などを設置しましょう。
- ☐ ④作業床の端、開口部には、囲い、手すり、覆い等を設置しましょう。※
- ☐ ⑤墜落制止用器具は、フルハーネス型安全帯等高さに応じた物を使用しましょう。※
- ☐ ⑥墜落制止用器具を使用するための親綱を必要に応じて設置しましょう。※
- ☐ ⑦足場の点検者を指名し、床材や手すり等の点検・補修を行い、氏名と結果を保存しましょう。※
- ☐ ⑧組立・解体の作業手順を周知しましょう。
- ☐ ⑨新規入場者教育等必要な安全衛生教育を行いましょう。※

※が未実施の場合、法令に抵触することがあります。



2 はしご、脚立や階段からの墜落・転落災害の防止

はしご、脚立や階段における災害は、移動中の足の滑り・踏み外し、はしご脚部の滑り、脚立上においてバランスを崩すことによる災害も発生しています。過去の災害事例を見ますと死亡災害も発生しています。

はしごや脚立の使用の前に、床面の広いローリングタワー（移動式足場）や作業台等の使用を検討しましょう。

- ☐ ①はしごの上部・下部を固定しましょう。※
(固定できない時は、他の人が支えてください)
- ☐ ②はしごの上端を上端床から60 cm以上突出させてください。
- ☐ ③はしごの立て掛け角度を75度程度確保しましょう。
- ☐ ④はしご、脚立から身体を乗り出さないように作業をしましょう。
- ☐ ⑤はしご、脚立の昇降時には手に荷物を持たずに昇降しましょう。
- ☐ ⑥脚立の天板に乗って作業をしないでください。
- ☐ ⑦移動中、足元の確認を徹底させ、踏み外しを防止しましょう。
- ☐ ⑧階段付近は十分な明るさを確保し、足元が見える状態で昇降しましょう。

※が未実施の場合、法令に抵触することがあります。



3 荷役作業時における墜落・転落災害の防止

荷役作業における墜落災害は、荷台作業中の足の滑り、つまずき、体勢を崩すことや、降車時のステップの踏み外し等により発生しています。その他、荷の固定中に固定具が外れた反動で墜落する災害も発生しています。

- ☐ ①雨天時等滑りやすい状態で作業を行う場合には耐滑性の靴を使用しましょう。
- ☐ ②作業を行う前に作業場所や周辺の床・地面の凹凸などの確認、整理整頓を行いましょう。
- ☐ ③トラックの荷台や荷の上での作業及び移動はできるだけ避け、地上での作業や地上を移動することを検討しましょう。
- ☐ ④やむを得ず荷台や荷の上で作業をする際は、荷台端部付近で背を荷台外側に向けないようにし、後ずさりしないようにしましょう。
- ☐ ⑤テールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業に対して特別教育を実施しましょう。※
- ☐ ⑥床面と荷台との昇降について安全に昇降できる設備を設置しましょう。
(積載荷重2トン以上の貨物自動車)。※
- ☐ ⑦保護帽を着用しましょう(積載荷重2トン以上の貨物自動車)。

※が未実施の場合、法令に抵触することがあります。



KKS 株式会社 建設経営サービス

建設企業のキャッシュフローの改善を支援します

KKS金融サービスのご案内

KKS保証ファクタリング

「KKS保証ファクタリング」は、国土交通省が創設した『下請債権保全支援事業』に基づき、お客様がお取引先（建設企業）に対して有する債権（売掛金・手形・電子記録債権）の決済を弊社が保証するサービスです。

債権保全の強化

債権が回収できない場合は、お取引先（建設企業）に代わってお支払いします

助成による保証料の減免

保証料率の33%（年率1.5%を上限）が国の助成により減免されます

債権の現金化

手形・電子記録債権の現金化にも対応しています。
不渡り時でも買戻し不要であるため、安心です

取引先の拡大

ファクタリングの活用により、社内の与信限度を超えた取引の拡大が図れます

*保証に際しては、弊社所定の審査があります。審査の結果により、ご希望に沿えない場合があります。

まずはお電話ください ☎ 03-3545-8562

発行人・お問合せ先

東日本建設業保証株式会社グループ

KKS 株式会社 建設経営サービス

貸金業登録番号 関東財務局長(6)第01480号

URL <https://www.kks-21.com>

金融第一部

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12
TEL 03-3545-8523 FAX 03-3545-8530

金融第二部

宮城営業所
愛知営業所

東京都中央区築地5-5-12

宮城県仙台市青葉区支倉町2-48
愛知県名古屋市中区武平町5-1

TEL 03-3545-8523

TEL 022-262-8622

TEL 052-962-3525

建設業を守る 建設共済保険

法定外労災補償制度

保険金

- 被災者補償(労働者福祉)
- 諸費用補償(企業防衛)

令和8年4月より
保険金区分新設
7,000万円・6,000万円

契約期間の途中からでも
増額可能

示談金の高額化に対応
手厚い補償

様々なサービスの提供

建設企業

事業主および下請を
含む労働者を補償

契約者割戻金

令和4年4月より
契約者割戻金制度開始
掛金負担が軽減

令和7年度割戻率
30.88%

◆育英奨学事業 ◆労働安全衛生 推進事業

返済不要の育英奨学金

現場で役立つ安全用品
女性専用トイレ・
女性専用更衣室の設置に
対する助成等

割戻金により増額時の
掛金負担が軽減

割戻率・
期中増額周知月間
6月1日→7月31日

- 共済団調査でも労災事故発生時に企業が負担する金額は上昇傾向にあり、示談金等の平均は3,021万円に増加
 - 本制度は契約期間の途中からでも保険金区分の増額が可能
- 一日も早い増額を推奨します!**

建設共済保険の詳細は
HPをご覧ください!

正確な掛金試算や資料請求はこちらまで

公益財団法人 **建設業福祉共済団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8(虎ノ門琴平タワー11階)

TEL 0120-913-931 FAX 03-3591-8474

(取扱機関)

(一社) 三重県建設業協会

〒514-0003 津市栄橋2-177-2

TEL 059-224-4116 FAX 059-228-6143



会員の異動

● 会員の新規入会

令和8年6月22日 理事会

支部	会 社 名	代表者名	所 在 地	電話／FAX
鈴鹿	(有)太田工業	代表取締役 太 田 和 志	〒513-0809 鈴鹿市西条1丁目21番21号	059-384-3200／059-384-3230

● 会員の代表者の変更

支部	変更事項	変 更 前	変 更 後
桑員	代 表 者	(株)伊藤組 代表取締役 伊 藤 清 光	(株)伊藤組 代表取締役 伊 藤 光 成
津	代 表 者	(株)ロッシュ 代表取締役 櫻 井 洋	(株)ロッシュ 代表取締役 大 江 寧
松阪	代 表 者	(株)上山組 代表取締役 上 山 勝 久	(株)上山組 代表取締役 上 山 紗 希
熊野	代 表 者	(有)森組 代表取締役 森 富 男	(有)森組 代表取締役 森 憲 史

● 会員の退会

支部	会 社 名	代 表 者 名	所 在 地
津	(有)奥山組	代表取締役 奥 山 貢	津市栗真町屋町567
一志	(株)広山建設	代表取締役 廣 山 公 一	津市三杉町太郎生1804

職員の異動

新 任

(令和8年4月1日)
一般社団法人三重県建設業協会
本部 事務局次長

瀬 古 敦 司



新 任

(令和8年6月1日)
一般社団法人三重県建設業協会
本部 書記

松 浦 麻布由



主たる会議

◎5月19日 13:30～

・令和8年5月常任理事会

三重県建設産業会館 2階役員室

理事会承認事項

- 1) 会員の入会
- 2) 代表者等の変更
- 3) 委員会及び部会の正副委員長・正副部会長候補者について

理事会報告事項

- 4) 所在地の変更
- 5) 社名の変更
- 6) 会員の退会

その他の事項

- 7) 令和8年6月総会について
- 8) 女性部会の今後の取組について

◎5月21日 10:00～

・女性部会リーダー・サブリーダー会

三重県建設産業会館 4階北会議室

- 1) 令和8年度からの女性部会の取組について(案)
- 2) 三重県建設業協会女性部会“パールこまち”本部部会員募集要項(案)
- 3) 次回の全体会について

◎5月28日 10:00～

・令和8年5月事務長会議 (WEB)

- 1) 令和8年6月総会における協力依頼について
- 2) 人材育成及び品質確保に関する理解促進事業について
- 3) 建退共制度に関する実態調査に係る協力依頼について
- 4) 「みえ建設ものづくりフェスタ」(県誕生150周年記念事業)について
- 5) 委員会及び部会の正副委員長・正副部会長候補について
- 6) 会員の代表者等変更手続きについて
- 7) 建協ねっとの活用について(メール等)

◎6月5日 12:00～

・第66回通常総会

三重県総合文化センター内フレンテみえ 多目的ホール

- 1) 令和7年度事業報告、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録承認の件
- 2) 令和8年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

- 3) 役員の任期満了に伴う改選の件

◎6月5日 13:10～

・臨時理事会

三重県総合文化センター内フレンテみえ 多目的ホール

- 1) 正副会長、常任理事、専務理事、常務理事の選任
- 2) 各支部の正副支部長の選任
- 3) 顧問、名誉会長、相談役の推薦

◎6月18日 13:30～

・女性部会全体会議

三重県建設産業会館 4階中・小会議室

- 1) 令和8年度からの女性部会の取組について(案)
- 2) 三重県建設業協会 女性部会「パールこまち」本部部会員募集要項(案)
- 3) みえ建設ものづくりフェスタについて
- 4) 令和8年度の女性部会の取組計画(案)について
- 5) グループのメンバーの入れ替えについて

◎6月22日 14:00～

・令和8年6月常任理事会

ホテルグリーンパーク津 6階伊勢の間

理事会承認事項

- 1) 委員会・部会の委員及び委員長・部会長について
- 2) 女性部会の今後の取組及び部会員の募集について
- 3) 代表者等の変更
- 4) 建設業魅力発信SNSコンテストについて
- 5) 「みえ建設ものづくりフェスタ」(県誕生150周年記念事業)について

理事会報告事項

- 6) 会員の退会

◎6月22日 16:00～

・令和8年6月理事会

ホテルグリーンパーク津 6階伊勢の間

理事会承認事項

- 1) 委員会・部会の委員及び委員長・部会長について
- 2) 女性部会の今後の取組及び部会員の募集について
- 3) 会員の入会
- 4) 代表者等の変更
- 5) 建設業魅力発信SNSコンテストについて

- 6) 「みえ建設ものづくりフェスタ」(県誕生150周年記念事業)について

理事会報告事項

- 7) 所在地の変更
8) 社名の変更
9) 会員の退会

- 10) 令和8年度三重県建設業協会 今後の事業予定

- 11) CCUSについて

◎6月23日 11:00～

・令和8年6月土木委員会

三重県建設産業会館 4階中小会議室

- 1) 副委員長の選任について
 - ①土木委員会副委員長の選任について
 - ②建設業活性化ビジョン検討委員会副委員長の選任について
 - ③DX専門委員会副委員長の選任について
- 2) 第12回災害対応実動訓練について
 - ①これまでの決定事項
 - ②建設市場整備推進事業費補助金
 - ③訓練内容と担当支部の検討
 - ④来賓依頼先一覧(案)
 - ⑤会場レイアウト図の検討
 - ⑥訓練実施までのスケジュール(参考)
- 3) 建設業魅力発信SNSコンテストの実施について
- 4) CCUSについて
- 5) 次回の土木委員会の開催について

◎6月29日 10:30～

・令和8年6月建築委員会

三重県建設産業会館 4階中小会議室

議題

- 1) 副委員長の選任について
- 2) 三重県建築賞について
 - ①三重県建築賞実施要綱(案)について
 - ②三重県建築賞募集要領(案)について
 - ③三重県建築賞の審査方法等について
 - ④三重県建築賞審査委員について
 - ⑤三重県建築賞スケジュール
- 3) その他

◎6月29日 13:30～

・令和8年6月技術者育成委員会

三重県建設産業会館 4階中小会議室

議題

- 1) 副委員長の選任について
- 2) 令和8年度の予定について

- 3) 資格取得支援について
- 4) 高校生建設現場見学会について
- 5) 建設業就職内定者研修会アンケート集計結果について
- 6) その他

◎7月7日 15:00～

・令和8年7月事務長会議

三重県建設産業会館 2階役員室

- 1) 委員会・部会の委員及び委員長・部会長について
- 2) 女性部会の今後の取組について
- 3) 第12回災害対応実動訓練について
- 4) 建設業魅力発信SNSコンテストについて
- 5) 地域建設業経営強化融資制度導入及び電子契約、電子保証導入の要望について
- 6) 令和8年度三重県建設業協会 今後の予定
- 7) 6月5日の総会について

◎7月9日 13:30～

・令和8年7月総務委員会

三重県建設産業会館 4階中小会議室

議題

- 1) 副委員長の選任について
- 2) 「みえ建設ものづくりフェスタ」について
- 3) 雇用改善推進大会について
- 4) 私たちの主張作文コンクールの選考について
- 5) 懇親会ゴルフ大会について
- 6) 今後の女性部会の取組について
- 7) 総務委員会 令和8年度年間計画(案)
- 8) CCUSについて

次回の総務委員会の開催

その他の会議・研修等

- 5月18日～20日 建設DXとAI実体験研修会(第2回)〔津市〕
- 5月20日 津労働基準協会 令和8年度通常総会〔津市〕
- 5月21日 (一社)公共建築協会懇親会〔東京都〕
- 5月22日 災害対策機械操作訓練(櫛田川)〔松阪市〕
- 5月23日 自由民主党三重県連定期大会(総務会)〔津市〕
- 5月23日 自由民主党三重県連定期大会〔津市〕
- 5月25日 第1回中部道路啓開計画協議会〔愛知県〕
- 5月25日 災害対策機械操作訓練(銚子川)〔紀北町〕

5月25日	令和8年度春の褒章伝達式	〔東京都〕	6月10日	(一社)三重県産業廃棄物協会	
5月26日	津法人会第14回通常総会・講演会	〔津市〕		第15回通常総会・懇談会	〔四日市市〕
5月26日	令和8年度(公社)三重県宅地建物取引業協会 定時総会・懇親会	〔津市〕	6月10日	建設業労働災害防止協会総代会・懇親会	〔東京都〕
5月27日～28日	土木施工管理2級1次前期受験対策研修会	〔尾鷲市〕	6月11日	労働災害防止に関する建設工事関係者連絡会議	〔津市〕
5月27日	令和8年度三重県職業能力開発協会通常総会	〔津市〕	6月12日	三重県建設資材試験センター第1回理事会	〔松阪市〕
5月28日	三重労働局人材確保対策推進協議会	〔津市〕	6月15日～16日	令和8年度新入社員研修会	〔津市〕
5月28日	三重県中小企業団体中央会第71回通常総会	〔津市〕	6月15日～16日	土木施工管理検定1級1次前期受験対策講習会	〔志摩市〕
5月29日	災害対策機械操作訓練(長良川)	〔岐阜県〕	6月16日	三重県産業教育振興会研修会	〔津市〕
5月29日	中東情勢による建設資材等の目詰まり解消に向けたキックオフWEB会議	〔WEB〕	6月16日	(公財)暴力追放三重県民センター評議員会	〔津市〕
5月30日	令和8年度三重県建築士会通常総会	〔津市〕	6月17日～18日	土木施工管理検定1級1次前期受験対策講習会	〔津市〕
5月31日	令和8年度天竜川下流連合総合水防演習	〔静岡県〕	6月17日	年金機構 社会保険制度説明会	〔津市〕
6月2日	第17回南海トラフ地震対策中部圏戦略会議	〔愛知県〕	6月19日	三重県就労支援事業者機構 理事会・総会	〔津市〕
6月2日	三重県中小企業団体中央会令和8年度労働専門委員会	〔津市〕	6月23日	(一社)全国中小建設業協会理事会・総会	〔東京都〕
6月4日	21世紀のエネルギーを考える会・みえ理事会・総会・講演会	〔津市〕	6月24日～25日	土木施工管理検定1級1次受験対策講習会	〔尾鷲市〕
6月4日	熊野青藍高校出前授業	〔熊野市〕	6月25日	(公社)三重県緑化推進協会令和8年度定時総会	〔津市〕
6月5日	(一社)三重県建設業協会・三重県建設産業団体連合会・三重県土木施工管理技士会合同表彰式	〔津市〕	6月27日	自由民主党三重県連政経セミナー	〔津市〕
6月5日	東海受信環境クリーン協議会第78回総会	〔愛知県〕	6月29日	(一社)三重県建設資材試験センター第18回定時総会	〔松阪市〕
6月7日	(特非)三重県日本中国友好協会理事会	〔津市〕	6月29日	建退共本部評議員会	〔東京都〕
6月8日	(特非)三重県木造住宅耐震促進協議会理事会・総会	〔津市〕	6月29日	けんざか茂範君を励ます会	〔東京都〕
6月9日	津労働基準協会安全衛生管理講習会	〔津市〕	6月30日	建設業総合補償制度新規・更新打合せ会議	〔WEB〕
6月9日	令和8年度三重県暴力排除対策連絡協議会総会	〔津市〕	7月5日	(特非)三重県日本中国友好協会第16回通常総会	〔津市〕
6月9日	(一社)全国建設業協会表彰式・定時総会・懇親会	〔東京都〕	7月6日～8日	建設DXとAI実体験研修会(第3回)	〔津市〕
6月9日	令和8年度中部建設青年会議 三重県支部総会	〔津市〕	7月6日	三重県自衛隊除隊者雇用協議会総会	〔津市〕
6月10日	令和8年度三重県教誨事業協会総会	〔津市〕	7月10日	(公財)建設業福祉共済団令和8年度事業推進戦略会議	〔東京都〕
6月10日	三重県生コンクリート品質管理監査会議 第1回品質管理監査会会議	〔津市〕	7月10日	国土交通大臣表彰式典	〔東京都〕
			7月13日	令和8年度三重県人権啓発懇話会総会及び講演会	〔津市〕
			7月14日～15日	4級建設業経理事務士特別研修会(一般)	〔津市〕
			7月15日	県土整備部との意見交換会	〔津市〕

助け合い、未来を創る。



建設業界による自主的な
共済保険で保険料が安い。

元請・下請問わず
無記名で補償。

元請・下請それぞれの
保険契約者へ重複支払い。

企業の諸費用部分も補償。

事業主(保険契約者)への
速やかな支払い。

経営事項審査において
15点の加点。

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門驛平タワー11階

取扱機関

(一社)三重県建設業協会

〒514-0003 津市桜橋2-177-2 TEL.059-224-4116 FAX.059-228-6143

詳しい情報、保険料試算など
お問い合わせは

Tel. 03-3591-8451

<http://www.kyousaidan.or.jp/>

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学
事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に
対して、要保育期間および小学校から大学までの在学
期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

建退共からのお知らせ

建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

国の制度
**5つの
特長**

1

国の制度なので安全確実かつ簡単

退職金は国で定められた基準により計算して確実に支払われます。
手続はきわめて簡単です。

2

退職金は企業間を通算して計算

退職金は、A企業からB企業にかわっても、
それぞれの期間が全部通算して計算されます。

3

国が掛金の一部を補助

新たに加入した労働者(被共済者)については、
国が掛金の一部(初回交付の手帳の50日分)を補助します。

4

掛金は損金扱い

掛金は、税法上全額について、法人では損金、個人企業では必要経費として扱われます。
(法人税法施行令第135条第1号、所得税法施行令第64条第2項)

5

経営事項審査で加点

公共工事の入札に参加するための経審において、
制度に加入し履行している場合には、加点評価されます。

(注) 資本金または出資金が1億円を超える法人の法人事業
税には、外形標準課税が適用されますので、ご注意ください。

お問い合わせは

独立行政法人
勤労者退職金共済機構

建退共三重県支部

〒514-0003 津市桜橋2丁目177-2

☎059-253-6505